佐世保市立歌浦小学校

所在地　佐世保市鹿町町下歌ヶ浦７９１番地１１
校　長　堀ノ内 祐輔
児童数　１００ 名　　学級数　７学級

学校教育目標…やさしい心　夢かがやく　歌小の子どもの育成
目指す子ども像…「つよく」・「かしこく」・「あたたかく」
今年度重点目標…「できた！」の宝物をふやそう！

1　確かな学力を育てる教育の推進
2　豊かな心を育てる教育の推進
3　たくましい体をつくる教育の推進
4　信頼される学校づくりの推進

1　目　　的

本校では教育目標の具現化に向け，積極的に特色ある学校づくりに取り組んでいる。本年度の重点目標である「できた！」の宝物をふやそう！を合言葉に，個人の「できた！」と集団の「できた！」の成功・達成経験を積み重ねる教育を実践することにより，子どもたちが自分のよさを発揮し，自信をもって成長しようとする児童の育成をめざしている。

○　確かな学力とコミュニケーション能力の育成
○　豊かな心を育む体験学習・交流学習の充実
○　地域・保護者との連携による教育環境の充実
○　外部人材・施設の積極的活用
○　花や野菜の栽培活動の充実
○　保幼小中連携の推進

2　主な実践内容

（1）確かな学力を育てる実践

①　算数科における先行学習を取り入れた授業実践

昨年度に引き続き「先行学習」の研究を行い，授業実践を通して教師の授業力向上と児童の学力向上を図った。

○　授業インストラクター：鏑木良夫先生を招聘〔８月，９月，２月〕
○　先行学習による算数科の研究授業を全学年で実施
○　自主研究発表会を２月２３日（木）に開催した。

②　学びの風土を築く学習の基盤づくりの徹底

○　学び合う学級づくり　・学習規律の確立　・「学習の足あとコーナー」の設置
○　スキルタイムの充実　・国語辞典活用による語彙力の強化　・家庭学習の充実
○　学習に集中できる環境づくり（ＯＫ筆箱やＯＫ机の徹底）

③　ボランティア・全職員による学習支援（通年）

１年生と３年～６年生の算数科における学習支援〔学力向上〕として地域のボランティア（サポートティーチャー）の方に学習支援として入っていただいた。

また，毎週木曜日と金曜日の始業前，１５分間を全学年で学習の習熟を図るチャレンジタイム（国語と算数）として実施している。このスキル学習の時間には，地域のボランティア（チャレンジサポートティーチャー）とともに，教頭，教務主任から事務職員や事務補助までの全職員で学習支援を行った。

〈成　果〉

○　昨年度に引き続き，先行学習を取り入れた授業実践を積み重ね授業改善を図ったことにより教師の授業力が向上し，児童の学力向上につながった。

また，「先行学習で深い学びを創る」，サブテーマ：授業規律の徹底と確かなスキルを通してのもとに市内の小中学校より多数の参加者と本校職員，そして鏑木良夫先生と共に自主教育研究発表会を開き，研究を深めることができた。児童相互の学びあい(ペア学習，グループ学習)や児童自身が学習の伸びを実感できる２度の理解度確認により学習内容の定着を図った。

○　昨年に引き続き学習用具やノート指導について全職員で共通理解を図り，一斉に指導を行った。また，家庭学習の習慣化については，家庭学習の手引きを配付し，保護者にも協力を求め，家庭でも子どもの家庭学習ノートに目を通し，賞賛や励ましの言葉を書き込んでいただくよう今年もお願いした。さらに，よく工夫された子どものノートを廊下に掲示するなど，児童の意識を高めることにも力を注いだ。家庭との連携協力も２年目に入り，定着してきた。

○　今年度の学力調査の結果では，４年生：市学力調査では市平均より国語 4.1 ポイント，算数 10.7 ポイント高い。５年生：県学力調査では県平均より国語 9.7，算数 1.4 ポイント高い。６年生：全国学力調査では全国平均より国語 A 1.9，算数 B 1.1 ポイント高くなった。

（２）豊かな心を育てる実践

①　歌浦音楽祭（１１月）

今年は、昨年度から実施している「歌浦音楽祭」を町の文化ホールをお借りして実施した。この取組は，鹿町，北松，佐世保市の小中高大学で学ぶ児童，生徒，学生が一堂に会し，それぞれの音楽活動を発表し合うことによって，音楽のすばらしさや表現の豊かさ，心を揺さぶられる感動を味わい，情操を育むこと目的に実施している。今年は町の施設で行ったせいか，地域からも多くの参観者があり，非常に好評であった。

②　読書活動の充実（通年）

【図書委員会】

毎週３回，朝の１０分間読書に全校で取り組んでいる。子どもたちが色々な本を手に取ることができるように，今年も図書委員会の児童が定期的に図書室の本をコンテナに入れて，全学級に配本した。また，１０月～１１月の読書週間においては，「秋の読書週間」と銘打って図書委員会が企画した読書ビンゴ（物語や伝記などの様々な分野の本を読む活動）を実施した。そのほかにも「家族読書にチャレンジ」，あるいは「ブックウォーク」などアイデアあふれる活動を通して児童の読書活動の充実を図った。

【図書ボランティア「アリスの会」による本の読み語り】

朝の読書の時間を使い，図書ボランティアによる本の読み語りを行っている。絵本を通しての読み語りはとても新鮮であり，みんな熱心に聞き入っており児童には大好評である。本校にとって，読書への興味を高める大きな活動の一つとなっている。

③　ボランティアによる見守り活動（通年）

朝の登校時には，ボランティアとして地域の方が通学路に立ち，安全見守りとあいさつ運動を行った。また，民生委員と全学年の児童による校門でのあいさつ運動も毎月１回，学年ごとに実施した。

〈成　果〉

○　「歌浦音楽祭」では，小中高大学生の演奏や合唱をするひたむきな姿に多くの方から感動したという声を聞いた。保護者，地域を合わせた参観者数は２４３名にもなり，地域の活性化にもつながった。

○　今年は，週に１回ではあるが学校司書が来校して図書に関する紹介を積極的に行った。そのため，低学年から高学年までの多くの児童が来室し，図書室が賑わう日もたびたび見られた。また，多読賞による表彰や秋の読書週間など，図書委員会の活動も活発となり，読書を楽しむ全校的な気運も一段と高まった。

○　地域と一体となった見守り活動は，本校の伝統であり，安心安全で豊かな生活環境づ

くりに大きく貢献している。全校児童が，毎月１回を校門の前であいさつ運動を行い，その後に毎日行っていただいている地域の安全見守りやあいさつ運動の方にお礼の気持ちを伝える習慣は，児童に感謝の気持ちを育てる良い機会となっている。

（３）たくましい体をつくる実践

①　朝の体力づくり

年間を通し，全校で体力づくりに取り組んだ。前期から後期前半までは，ラジオ体操を行った後に５分間のランニングを，そして，後期後半からは長縄跳びを行った後に５分間のランニングを行った。職員も朝早くから出勤し，この体力づくりに参加しており，子どもたち一人一人に励ましの言葉をかけて体力づくりを推進した。本校の５分間ランニングは，自分のペースで止まらずに走り続けるという約束で，苦しくてもねばり強く頑張りぬく力が育っている。このことが学力向上にも大きく影響していると考える。

②　給食の残食ゼロ，無言掃除の徹底

今年も給食を残さずに食べる「残食ゼロ」に取り組んだ。好き嫌いせずにしっかり食べる子どもは元気があり，集中力もある。このことが学力向上にも結びついていると考える。また，「無言掃除」の徹底にも力を入れ，６年生が下級生に教える縦割り掃除を始めた。掃除を通して心を磨くことにつないでいる。

〈成　果〉

○　全校で「朝のラジオ体操とランニング(５分間走)」，「給食の残食ゼロ」，「無言掃除の徹底」を合言葉に「つよい子」の育成に取り組んできた。普段の学校生活の中で児童一人ひとりが学校経営方針の「できたの宝物をふやそう」をめあてに自分や学級のめあてに向かって努力し，各学級での取組を掲示，紹介している。今よりももっと良くなりたいと願い，様々な場面で努力する児童が増えた。

（４）各学年の主な実践

【１年生，２年生】

①　活動名「森きららと子ヤギの見学」～生活科の環境学習［９月］

②　活動の概要

○　「森きらら」の見学は，小動物とのふれあい体験を通して，身近な動物園においても環境を考えた取組が行われていることを学ぶ。

○　学校の近くの家で産まれた子ヤギと触れ合う。

③　活動の成果

○　動植物園における環境を守るための取組についていろいろな動物のえさやその行き先としての排泄物を見たり，触ったりしながら，環境を守るための取組が身近な施設でも行われていることを知ることができた。

○　小動物とのふれあい体験では，モルモットや子ヤギに実際に触れ，温もりや心臓の鼓動から命を感じたり，やさしく声をかけたりすることができた。

○　子ヤギの出産の話を聞くことができ，６月の「いのちを見つめる強調月間」で学んだことにつなぐことができた。

【３年生】

①　活動名「スイートコーン栽培」～栽培活動［４月～６月］

②　活動の概要

○　地域にある畑を利用して，スイートコーン苗の植え付けと収穫を行う。

○　地域の方の指導のもと，苗植えと収穫作業を体験することを通して，農業を営む人たちの工夫について学ぶ。

③　活動の成果

○　今年は，発芽の時期をずらした２種類の苗を栽培することによって梅雨の被害を避

けて，収穫することができた。また，この栽培活動を通して，農業を営む人たちの苦労や工夫，収穫の喜びに気づくとともに，こうした体験を提供してくださる地域の方への感謝の気持ちを育むことができた。

【４年生】

①　活動名「ふるさと文化・環境体験学習」～文化体験・環境学習［９月］

②　活動の概要

○　佐世保市の伝統文化である三川内焼の歴史を学び，地域の特色を活かして焼き物作りを続けていることを理解することを通して，ふるさと佐世保への思いを深める。

○　西部クリーンセンターを見学して、健康で住みよいくらしを支えているしくみや働きについて理解を深める。

③　活動の成果

○　子どもたちがふれることの少ない三川内焼の歴史を学び、地域の特色や伝統的な技術を活かして佐世保市で焼き物作りを続けている人がいることを理解し，ふるさと佐世保への思いを新たにすることができた。

○　西部クリーンセンターを見学して環境に関する様々な問題や取組があることに気づき，身近なことから自分たちができることをしようという実践意欲が高まった。

【５年生】

①　活動名「米作り大作戦」～栽培・探究学習［６月～１月］

②　活動の概要

○　４年前に作られた校内の水田を利用し，土作りから始まり，種もみ選び，種まき，苗作り，しろかき，田植え，稲刈り，脱穀の全ての作業を地域のサポートティーチャーに指導を頂きながら活動を行った。児童は，夏休みも含め，毎日欠かさず，水の管理や害虫の発生・駆除，３本・５本・７本と分けて植えた株の分けつの様子や育ち具合の観察などを行った。観察の様子は，パソコンを活用して毎日記録した。

○　学習発表会では，稲作りの様子やサポートティーチャーへの感謝の気持ちを劇やクイズを交えながら発表し，最後はできた餅米で，サポートティーチャー，保護者ともちつきを行った。

③　活動の成果

○　米作りの体験を通して，稲を育てることの難しさや稲作に従事する人々の苦労や工夫，植物の生命を育むことの喜びを実感することができた。

○　熱心に米作りを教えてくださったサポートティーチャーと接することを通し，稲作の知識だけではなく，感謝の心も身につけることができた。

【６年生】

①　活動名「平和の大切さを伝えよう」～探究学習［７月～９月］

②　活動の概要

○　原子爆弾による被害の大きさや戦争中の生活の様子について各自が立てた課題を調べ，プレゼンテーションソフトや新聞にまとめて発表した。

③　活動の成果

○ 修学旅行で訪れた原爆資料館では，「平和案内人」の方に展示物の説明や原子爆弾の被害についての話を伺った。グループごとに自作の資料等を用いながらの説明はとてもわかりやすく，質問にも丁寧に答えていただいたので戦争や原爆の恐ろしさについてしっかりと学ぶことができた。

○　発表資料を作る際，「案内人の方にもっと質問していれば…」という感想があった。発表を意識した調べ学習となるよう、課題の立て方や計画の仕方をもう少し工夫すべきであったと反省が出たことは大きな収穫だった。